

## (8) 剥離剤(リムーバー)

### 推計対象とする排出

ペイント剥離剤等として使用される塩化メチレン(物質番号:145)を推計対象とする。例えば、船舶、航空機、自動車、木製品のように塗料が使われた資材で、補修等のために塗膜を剥離するなど広い需要分野で使われており、一般には開放状態で使用されると考えられる。

### 推計に利用できるデータ

剥離剤(リムーバー)推計で使用するデータは表 62 のとおりである。

表 62 剥離剤(リムーバー)の推計で利用可能なデータの種類(平成 17 年度)

データの種類	資料名等
塩化メチレンの剥離剤としての国内需要量(t/年)	クロロカーボン衛生協会
大気への排出率	使用される形態に基づき 100%と仮定する
「塗料」の需要分野別全国出荷量(t/年)	(社)日本塗料工業会(平成 16 年 12 月)
「塗料」の各需要分野出荷量の業種別構成比(%)	「塗料」における推計値

### 塩化メチレンの国内需要量

クロロカーボン衛生協会では、塩素系溶剤の製造業者である会員企業の出荷量データや経済産業省の生産統計等のデータに基づき、物質ごとの輸出入量や在庫量等も考慮して用途別の国内需要量を推計している。剥離剤(リムーバー)の国内需要量は表 63 のとおりであり、この需要量を年内の国内使用量と同じとみなす。

表 63 塩化メチレンの剥離剤(リムーバー)としての国内需要量

年度	需要量(t/年)
平成 15 年	2,812
平成 16 年	1,460
平成 17 年	1,540

資料:クロロカーボン衛生協会

注:経済産業省生産統計や会員企業データに基づき、輸出入や在庫量等を考慮した推定値を示す。

### 大気への全国の総排出量

開放系での使用が見込まれるため、大気への排出率を 100%と仮定する。したがって、平成 17 年度の全国の総排出量は 1,540t/年とする。

### 業種別の総排出量

ペイント剥離剤の業種別の使用量等の適当な既存データが入手できない。そこで、「塗料」の業種別出荷量を推計し、剥離剤も同様の業種で出荷量に比例して使用されると仮定する。塗料の需要分野別出荷量(表 64)及び、需要分野別出荷量の業種別構成比(表 65:「(1)塗料」の項目にて別途推計)より、塗料の業種別出荷量の構成比を算出する。表 64 に示す塗料の需要分野別全国出荷量を表 65 の業種に配分し、業種別の出荷量を再集計、構成比を算出した。その結果及び総排出量を配分した結果を表 66 に併せて示す。

表 64 「塗料」の需要分野別全国出荷量

需要分野	出荷量(t/年)
建築資材	99,527
船舶	105,659
自動車(新車)	243,009
自動車補修	30,486
電気機械	40,463
機械	49,259
金属製品	142,092
木工製品	29,552

資料:(社)日本塗料工業協会(平成 17 年 12 月)のデータに基づき年次補正。「(1)塗料」の再掲。

表 65 「塗料」の需要分野別出荷量の業種別構成比

需要分野	1600	1700	2500	2600	2700	2800	2900	3000	3100	3200	7700	合計
	木材・木製品製 造業	家具・装備品製 造業	窯業・土石製品 製造業	鉄鋼業	非鉄金属製造 業	金属製品製造 業	一般機械器具 製造業	電気機械器具 製造業	輸送用機械器 具製造業	精密機械器具 製造業	自動車整備業	
建築資材		17%	5%			78%						100%
船舶									100%			100%
自動車(新車)									100%			100%
自動車補修											100%	100%
電気機械							13%	86%		2%		100%
機械							74%		24%	2%		100%
金属製品		21%		6%	10%	63%						100%
木工製品	33%	67%										100%

出典:「(1)塗料」の項目より再掲

表 66 剥離剤(リムーバー)に係る総排出量の推計結果(平成 17 年度)

業種	業種別 構成比	総排出量 (t/年)
1600 木材・木製品製造業	1.3%	20
1700 家具・装備品製造業	9.0%	138
2500 窯業・土石製品製造業	0.7%	10
2600 鉄鋼業	1.2%	18
2700 非鉄金属製造業	1.9%	30
2800 金属製品製造業	22.6%	348
2900 一般機械器具製造業	5.6%	87
3000 電気機械器具製造業	4.7%	72
3100 輸送用機械器具製造業	48.7%	750
3200 精密機械器具製造業	0.2%	4
7700 自動車整備業	4.1%	63
合 計	100.0%	1,540

注1:業種別構成比は表 64 及び表 65 より算出した。

注2:本表に示す総排出量はすべて塩化メチレン(物質番号:145)に係るもの。

推計フロー

剥離剤(リムーバー)に係る総排出量の推計フローを図 8 に示す。図中の ~ の番号は表 62 に示す同じ番号に対応している。

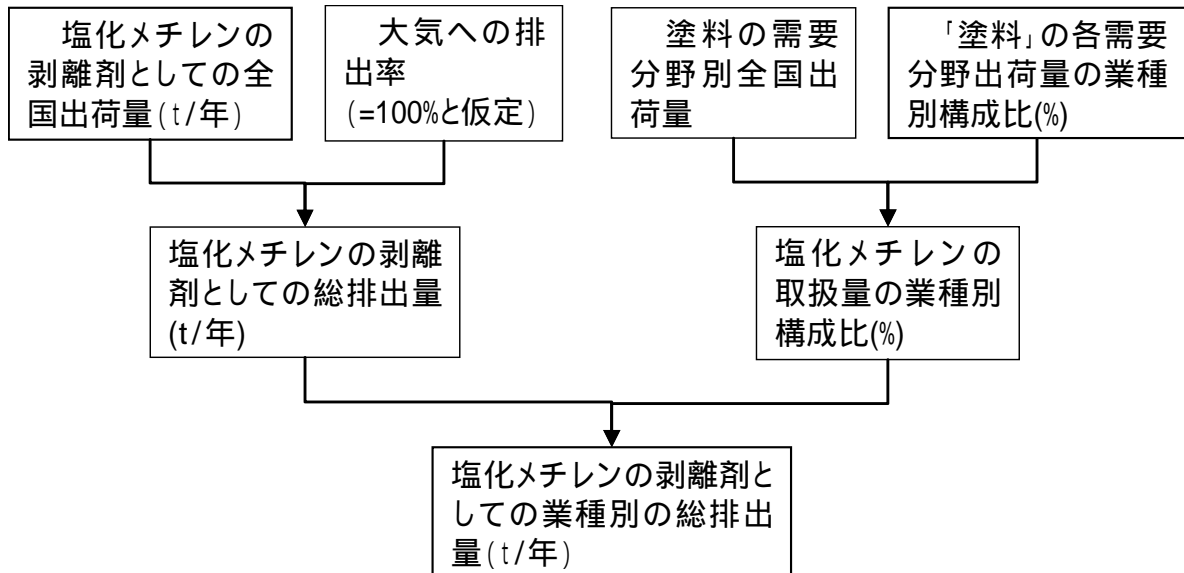


図 8 剥離剤(リムーバー)に係る総排出量の推計フロー

## (9)滅菌・殺菌・消毒剤

### 推計対象とする排出

対象物から微生物を除去するために使われるエチレンオキシド(物質番号:42)を対象とする。対象業種では医療用機械器具製造業(精密機械器具製造業の一部)等での使用がある。密閉された滅菌装置等に対象物を入れ、殺菌ガス(炭酸ガスで希釈したエチレンオキシド)により殺菌・消毒等を行う。使用後に排ガス処理が行われる場合にはほぼ全量が消失するが、排ガス処理が行われない場合には、全量が大気への排出となる。

### 推計に利用できるデータ

滅菌・殺菌・消毒剤の推計に利用可能なデータは表 67 のとおりである。

表 67 滅菌・殺菌・消毒剤の推計で利用可能なデータの種類(平成 17 年度)

データの種類	資料名等
殺菌ガスの全国出荷量(t/年)	ガスメディーキーナ 2006(株)ガスレビュー)
非対象業種におけるエチレンオキシドの使用量	第 5 回 PRTR 公表資料(経済産業省・環境省)
大気への排出率	平成 17 年度及び平成 18 年度取扱量調査(経済産業省)
総排出量の業種別構成比	(上記 と同じ)

### 対象業種における殺菌ガスの全国出荷量

殺菌ガスとしてユーザーが使用する製品は、エチレンオキシドを炭酸ガスで希釈した高圧ガス製品(エチレンオキシドの含有率は平均 20%)であり、製造業等の対象業種では一般に 30kg 入りの大型ボンベが使用される。業界誌によると、殺菌ガスの平成 17 年度の出荷量推計値は 4,453t/年であるため、エチレンオキシドとしての出荷量は 891t/年(=4,453t/年×20%)である。出荷量は同年度における全体の使用量とみなし、その使用量から別途推計されている非対象業種(医療業、滅菌代行業)の使用量を除いた量が、対象業種の使用量であると仮定する。

平成 17 年度の非対象業種の使用量(エチレンオキシド換算)は、約 169t/年であるため、対象業種の使用量は約 722t/年となる。

### 大気への総排出量

平成 17 年度及び平成 18 年度取扱量調査によると、エチレンオキシドを滅菌・消毒の用途で使用した事業所(データ数 105 件)の平均排出率は約 40%であり、大気への排出率はこれと同じとみなす。したがって、全国における大気への排出量は約 287t/年となる。

### 総排出量の業種別構成比

業種別の総排出量は、表 67 のデータを用いて算出する。エチレンオキシドを滅菌・消毒の用途で使用した事業所のデータを抽出し、そのエチレンオキシド取扱量の業種別の構成比によって全国の総排出量を業種に配分する。表 68 に取扱量の業種別構成比及び総排出量の推計値を示す。

表 68 滅菌・殺菌・消毒剤に係る総排出量の推計値(平成 17 年度)

業種		既存調査の結果			総排出量 (kg/年)
業種 コード	業種名	回答 事業所数	取扱量 (kg/年)	構成比	
1400	繊維工業	3	10,154	0.8%	2,220
1500	衣服・その他の繊維製品製造業	1	136	0.01%	30
1800	パルプ・紙・紙加工品製造業	5	25,819	2.0%	5,646
2000	化学工業	14	253,081	19.3%	55,344
2200	プラスチック製品製造業	5	12,870	1.0%	2,814
2300	ゴム製品製造業	3	1,316	0.1%	288
2500	窯業・土石製品製造業	1	1,128	0.1%	247
3200	精密機械器具製造業	27	259,338	19.7%	56,712
3400	その他の製造業	6	477,775	36.4%	104,480
3600	ガス業	1	195,900	14.9%	42,839
5930	その他の小売業	1	10	0.001%	2
7210	洗濯業	4	840	0.1%	184
9140	高等教育機関	19	9,473	0.7%	2,072
9210	自然科学研究所	15	66,518	5.1%	14,546
合 計		105	1,314,358	100.0%	287,424

資料:平成 17 年度及び平成 18 年度取扱量調査

注1:エチレンオキシドを滅菌・消毒の用途で使用した事業所のデータを抽出し、構成比を算出。

注2:本表に示す総排出量はすべてエチレンオキシド(物質番号:42)に係るもの。

推計フロー

滅菌・殺菌・消毒剤に係る総排出量の推計フローを図 9 に示す。なお、図中の番号は表 1-6 に対応している。

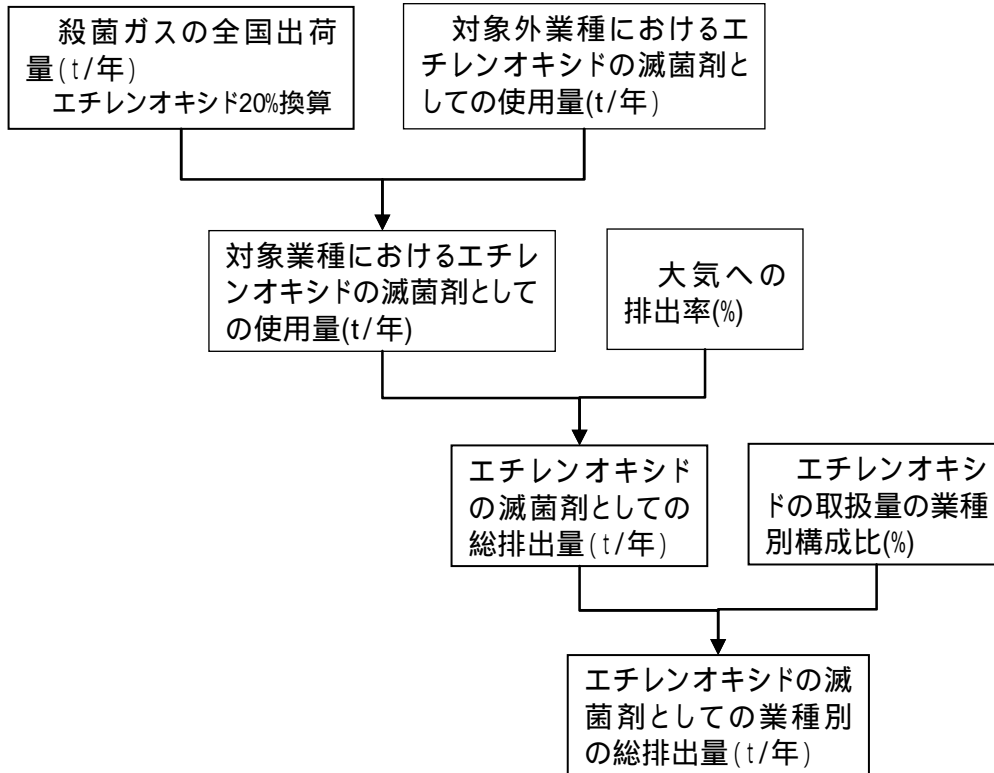


図 9 滅菌・殺菌・消毒剤に係る総排出量の推計フロー

## (10) 表面処理剤

### 推計対象とする排出

金属の表面を酸洗浄するのに使われる「ふっ化水素及びその水溶性塩」(物質番号:283)を推計対象とする。金属製品製造業等の対象業種にて使用され、使用後に一部が公共用水域等へ排出される。

### 推計に利用できるデータ

表面処理剤の推計に利用できるデータは表 69 のとおりである。

表 69 表面処理剤の推計で利用可能なデータの種類(平成 17 年度)

データの種類	資料名等
表面処理剤としての「ふっ化水素及びその水溶性塩」の出荷量(t/年)	平成 18 年度版無機薬品の実績と見通し (日本無機薬品協会)
公共用水域への排出率(%)	平成 17 年度及び平成 18 年度取扱量調査 (経済産業省)
総排出量の業種別の構成比(%)	(上記 と同じ)

### 表面処理剤としての全国出荷量

「無機薬品の実績と見通し(日本無機薬品協会)」によると、平成 17 年度に金属表面処理用として出荷された「ふっ化水素及びその水溶性塩」の量は表 70 のとおりである。

表 70 「ふっ化水素及びその水溶性塩」の全国出荷量

個別物質名	全国出荷量(t/年)	
	化合物	元素換算
ふっ化水素酸(HF)	17,478	16,604
ふっ化水素アンモニウム(NH <sub>4</sub> HF)	146	97
合計	17,624	16,701

資料:平成 18 年度版無機薬品の実績と見通し(日本無機薬品協会)

注:元素への換算係数は下記のとおり。

ふっ化水素酸:0.950 ふっ化水素アンモニウム:0.667

### 公共用水域への総排出量

平成 17 年度及び平成 18 年度取扱量調査によると、「ふっ化水素及びその水溶性塩」を表面処理剤、工業用洗浄剤の用途で使用した事業所(データ数 333 件)の平均排出率は約 3% であるため、公共用水域への排出率はこの値と同じとみなす。したがって、公共用水域への全国の総排出量は約 462t/年となる。

### 業種別の総排出量

平成 17 年度及び平成 18 年度取扱量調査に基づき、「ふっ化水素及びその水溶性塩」を表面処理剤、工業用洗浄剤として使用している事業所のデータを抽出し、当該物質の業種別取扱量の構成比を算出する。表面処理剤に係る業種別の総排出量は、この値に比例して配分する。表 71 に業種別の取扱量の構成比及び総排出量の推計値を示す。

表 71 表面処理剤に係る総排出量の推計結果

業種		既存調査の結果			総排出量 (kg/年)
業種 コード	業種名	回答 事業所数	取扱量 (kg/年)	構成比	
2000	化学工業	4	86,707	1.0%	4,789
2100	石油製品・石炭製品製造業	1	338,860	4.0%	18,715
2300	ゴム製品製造業	1	58	0.001%	3
2500	窯業・土石製品製造業	20	832,637	10.0%	45,986
2600	鉄鋼業	15	552,746	6.6%	30,528
2700	非鉄金属製造業	16	73,334	0.9%	4,050
2800	金属製品製造業	63	236,961	2.8%	13,087
2900	一般機械器具製造業	10	937	0.01%	52
3000	電気機械器具製造業	124	5,835,243	69.7%	322,276
3100	輸送用機械器具製造業	18	65,452	0.8%	3,615
3200	精密機械器具製造業	11	9,035	0.1%	499
3300	武器製造業	1	60	0.001%	3
3400	その他の製造業	23	311,574	3.7%	17,208
3500	電気業	1	2,378	0.03%	131
7210	洗濯業	5	75	0.001%	4
8620	商品検査業	1	2	0.00002%	0.1
8630	計量証明業	1	3	0.00004%	0.2
8722	産業廃棄物処分業	1	11,125	0.1%	614
9140	高等教育機関	7	21	0.0003%	1
9210	自然科学研究所	10	10,677	0.1%	590
合 計		333	8,367,885	100.0%	462,151

資料:平成 17 年度及び平成 18 年度取扱量調査

注1:「ふっ化水素及びその水溶性塩」を表面処理剤、工業用洗浄剤として使用している事業所のデータより、構成比を算出。

注2:本表に示す総排出量はすべて「ふっ化水素及びその水溶性塩」(物質番号:283)に係るもの。



### 推計フロー

表面処理剤に係る総排出量の推計フローを図 10 に示す。

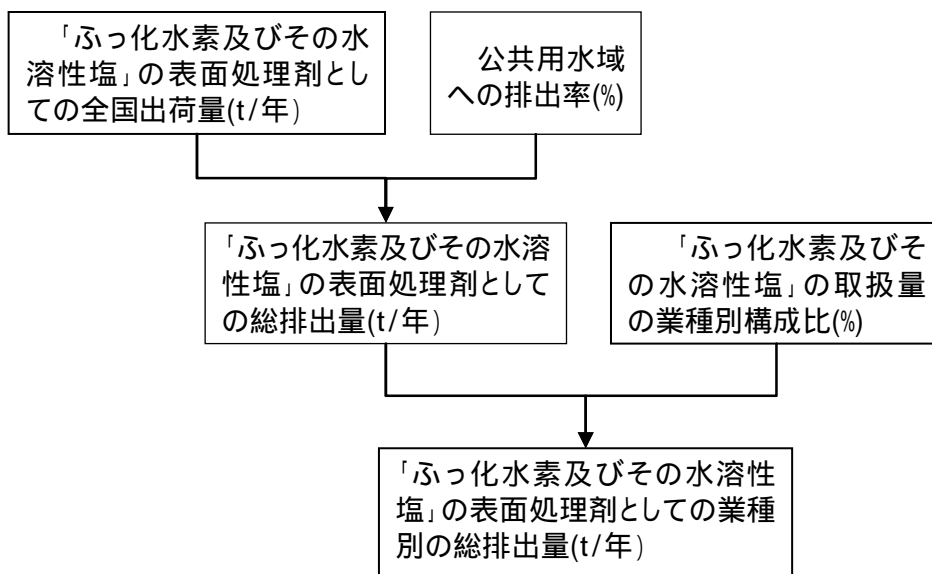


図 10 表面処理剤に係る総排出量の推計フロー

## (11) 試薬

### 推計対象とする排出

化学分析等の試薬のうち、全国の需要量が把握できる塩化メチレン(物質番号:145)とトリクロロエチレン(物質番号:211)を推計対象とする。使用段階で一部が大気等へ排出される。

### 推計に利用できるデータ

試薬の総排出量の推計に利用可能なデータを表 72 に示す。

表 72 試薬の推計で利用可能なデータの種類(平成 17 年度)

データの種類	資料名等
塩素系炭化水素類の試薬としての国内需要量(t/年)	クロロカーボン衛生協会
大気への排出率(%)	平成 17 年度及び平成 18 年度取扱量調査(経済産業省)
総排出量の業種別の構成比(%)	(上記 と同じ)

### 塩素系炭化水素類の試薬としての国内需要量

クロロカーボン衛生協会では、塩素系溶剤の製造業者である会員企業の出荷量データや経済産業省の生産統計等のデータに基づき、物質ごとの輸出入量や在庫量等も考慮して用途別の国内需要量を推計している。PRTR の対象化学物質のうち試薬として調査されているのは表 73 に示す 2 物質である。

表 73 試薬として推計する対象化学物質(平成 17 年度)

物質番号	対象化学物質	国内需要量(t/年)
145	塩化メチレン	1,202
211	トリクロロエチレン	526
合 計		1,728

資料:クロロカーボン衛生協会

注:経済産業省生産統計や会員企業データに基づき、輸出入や在庫量等を考慮した推定値を示す。

### 大気への総排出量

平成 17 年度及び平成 18 年度取扱量調査によると、試薬の用途で塩化メチレン又はトリクロロエチレンを使用した事業所(2 物質合計のデータ数 450 件)の平均排出率は約 15%であるため、大気への排出率はこの値と同じとみなす。したがって、全国における大気への総排出量(2 物質の合計)は約 180t/年となる。

### 業種別の総排出量

平成 17 年度及び平成 18 年度取扱量調査に基づき、塩化メチレン及びトリクロロエチレンを試薬として使用している事業所のデータを抽出し、2 物質の業種別取扱量の構成比を算出する。業種別の総排出量は、この値に比例するものと仮定して配分する。表 74 に業種別の取扱量の構成比及び総排出量の推計値を示す。

表 74 試薬に係る総排出量の推計結果

業種		既存調査の結果			総排出量(kg/年)	
業種コード	業種名	回答事業所数	取扱量(kg/年)	構成比	塩化メチレン	トリクロロエチレン
1200	食料品製造業	9	2,646	1.4%	2,468	1,080
1300	飲料・たばこ・飼料製造業	4	147	0.1%	137	60
1400	繊維工業	4	1	0.001%	1	0.4
1800	パルプ・紙・紙加工品製造業	2	1	0.001%	1	0.4
1900	出版・印刷・同関連産業	2	45	0.02%	42	18.4
2000	化学工業	39	101,830	53.1%	94,981	41,566
2200	プラスチック製品製造業	1	41	0.02%	38	17
2500	窯業・土石製品製造業	3	20	0.01%	19	8
2700	非鉄金属製造業	1	6	0.003%	6	2
2900	一般機械器具製造業	1	269	0.1%	251	110
3000	電気機械器具製造業	3	3	0.002%	3	1
3100	輸送用機械器具製造業	2	4	0.002%	4	2
3200	精密機械器具製造業	1	56	0.03%	52	23
3400	その他の製造業	4	40	0.02%	37	16
8620	商品検査業	18	179	0.1%	167	73
8630	計量証明業	55	17,579	9.2%	16,397	7,176
8722	産業廃棄物処分業	3	1,300	0.7%	1,213	531
9140	高等教育機関	131	56,128	29.3%	52,352	22,911
9210	自然科学研究所	167	11,525	6.0%	10,750	4,704
合計		450	191,820	100%	178,918	78,300

資料:平成 17 年度及び平成 18 年度取扱量調査

注:塩化メチレン及びトリクロロエチレンを試薬として使用している事業所のデータより、構成比を算出した。

### 推計フロー

試薬に係る総排出量の推計フローを図 11 に示す。なお、図中の番号は表 72 に示す番号に対応している。

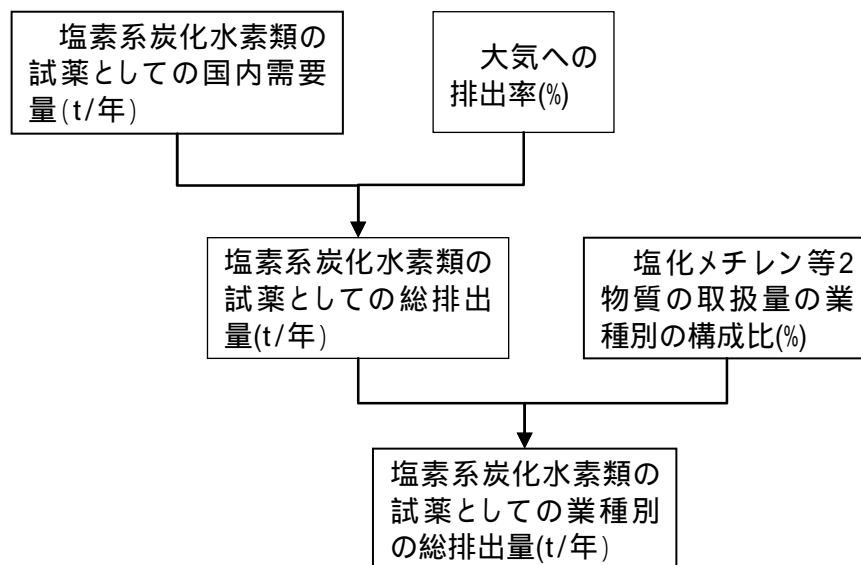


図 11 試薬に係る総排出量の推計フロー

### 3. 総排出量の推計結果

以上の方法に従って推計された排出源別の平成 17 年度における総排出量(届出を含む排出量)の推計結果を表 75 及び表 76 に示す。11 種類の排出源の合計で 211 千トンであり、排出源では塗料(118 千トン)が最大、業種では輸送用機械器具製造業(64 千トン)が最大、対象化学物質ではトルエン(87 千トン)が最大であった。

表 75 排出源別に推計した総排出量の推計結果(平成 17 年度)(排出源別;その1)

物質 番号	対象化学物質名	総排出量(t/年)					
		塗料	接着剤	印刷イ ンキ	工業用洗 浄剤等	燃料(蒸発 ガス)	ゴム溶 剤等
24	直鎖アルキルベンゼンスルホン酸及びその塩(アルキル基の炭素数が 10 から 14 までのもの及びその混合物に限る)				317		
40	エチルベンゼン	22,699		176		62	
42	エチレンオキシド						
63	キシレン	59,539	2,091	308		246	421
145	塩化メチレン				12,350		364
166	N,N-ジメチルドデシルアミン = N-オキシド				12		
177	スチレン						
200	テトラクロロエチレン				6,128		303
211	トリクロロエチレン				7,624		129
224	1,3,5-トリメチルベンゼン	3,299				13	
227	トルエン	32,495	23,156	15,300		1,712	9,314
251	ビス(水素化牛脂)ジメチルアンモニウムクロリド				20		
283	ふっ化水素及びその水溶性塩						
299	ベンゼン					311	
307	ポリ(オキシエチレン) = アルキルエーテル(アルキル基の炭素数が 12 から 15 までのもの及びその混合物に限る)				878		
308	ポリ(オキシエチレン) = オクチルフェニルエーテル				6		
309	ポリ(オキシエチレン) = ノニルフェニルエーテル				227		
合 計		118,032	25,247	15,783	27,562	2,343	10,531

注: 本表では排出量の単位が"t/年"であることに留意(表 76 も同様)。

表 75 排出源別に推計した総排出量の推計結果(平成 17 年度)(排出源別;その2)

物質 番号	対象化学物質名	総排出量(t/年)					合計
		化学品 原料等	剥離剤 (リムー バー)	滅菌・殺 菌・消毒 剤	表面処 理剤	試薬	
24	直鎖アルキルベンゼンスルホン酸及びその塩(アルキル基の炭素数が10から14までのもの及びその混合物に限る)	31					348
40	エチルベンゼン	272					23,209
42	エチレンオキシド	52		287			339
63	キシレン	1,239					63,843
145	塩化メチレン	1,686	1,540			179	16,119
166	N,N-ジメチルドデシルアミン = N-オキシド	0					12
177	スチレン	474					474
200	テトラクロロエチレン	50					6,481
211	トリクロロエチレン	56				78	7,887
224	1,3,5-トリメチルベンゼン	224					3,536
227	トルエン	4,956					86,931
251	ビス(水素化牛脂)ジメチルアン モニウム=クロリド	8					28
283	ふっ化水素及びその水溶性 塩	66			462		528
299	ベンゼン	399					710
307	ポリ(オキシエチレン)=アルキ ルエーテル(アルキル基の炭 素数が12から15までのもの及 びその混合物に限る)	4					882
308	ポリ(オキシエチレン)=オクチ ルフェニルエーテル	0					6
309	ポリ(オキシエチレン)=ノニル フェニルエーテル	1					229
	合 計	9,517	1,540	287	462	257	211,562

表 76 排出源別に推計した総排出量の推計結果(平成 17 年度)(業種別;その1)

物質番号	対象化学物質名	総排出量(t/年)								
		1200	1300	1400	1500	1600	1700	1800	1900	2000
		食料品製造業	飲料・たばこ・飼料製造業	繊維工業	衣服・その他の繊維製品製造業	木材・木製品製造業	家具・装備品製造業	パルプ・紙・紙加工品製造業	出版・印刷・関連産業	化学工業
24	直鎖アルキルベンゼン スルホン酸及びその塩(アルキル基の炭素数が10から14までのもの及びその混合物に限る)	3	0	17	0			8		31
40	エチルベンゼン					362	1,229	5	158	272
42	エチレンオキシド			2	0			6		107
63	キシレン			2		1,007	2,730	943	276	1,239
145	塩化メチレン	2	0	0		29	139	0	0	1,781
166	N,N-ジメチルドデシル アミン=N-オキシド	2	0	4	0			1		0
177	スチレン									474
200	テトラクロロエチレン									50
211	トリクロロエチレン	1	0	0				0	0	97
224	1,3,5-トリメチルベンゼン					48	180			224
227	トルエン			27		5,680	3,624	10,760	13,727	4,956
251	ビス(水素化牛脂)ジメチル アンモニウム=クロリド	1	0	4	0			0		8
283	ふっ化水素及びその水 溶性塩									71
299	ベンゼン									399
307	ポリ(オキシエチレン)=アル キルエーテル(アルキ ル基の炭素数が12から 15までのもの及びその 混合物に限る)	53	3	311	5			48		4
308	ポリ(オキシエチレン)= オクチルフェニルエー テル	0	0	0	0			0		0
309	ポリ(オキシエチレン)=ノ ニルフェニルエーテル	0	0	51	1			2		1
	合計	63	4	419	7	7,125	7,902	11,772	14,161	9,714

表 76 排出源別に推計した総排出量の推計結果(平成 17 年度)(業種別;その2)

物質 番号	対象化学物質名	総排出量(t/年)								
		2100	2200	2300	2400	2500	2600	2700	2800	2900
		石油製品・石炭製 品製造業	プラスチック製品製 造業	ゴム製品製造業	なめし革・同製品・ 毛皮製造業	窯業・土石製品製 造業	鉄鋼業	非鉄金属製造業	金属製品製造業	一般機械器具製造 業
24	直鎖アルキルベンゼン スルホン酸及びその塩 (アルキル基の炭素数 が 10 から 14 までのも の及びその混合物に 限る)		102	152	0		3	0	0	2
40	エチルベンゼン		5			77	79	123	1,880	2,732
42	エチレンオキシド		3	0		0				
63	キシレン		175	439	39	272	179	278	5,743	7,508
145	塩化メチレン		0	364		11	868	838	6,051	1,532
166	N,N-ジメチルドデシ ルアミン=N-オキシド		0	0			1	0	0	1
177	スチレン									
200	テトラクロロエチレン			303			756	291	996	95
211	トリクロロエチレン		0	129		0	586	360	3,579	558
224	1,3,5-トリメチルベンゼ ン					17	9	15	332	374
227	トルエン		2,248	9,517	430	232	68	106	4,754	2,767
251	ビス(水素化牛脂)ジメ チルアンモニウム=ク ロリド		1	1			0	0	0	0
283	ふっ化水素及びその 水溶性塩	19		0		46	31	4	13	0
299	ベンゼン									
307	ポリ(オキシエチレン) =アルキルエーテル (アルキル基の炭素数 が 12 から 15 までのも の及びその混合物に 限る)		107	160	5		34	1	2	20
308	ポリ(オキシエチレン) =オクチルフェニルエ ーテル		2	3	0		0	0	0	0
309	ポリ(オキシエチレン) =ノニルフェニルエー テル		32	48	14		25	1	2	15
	合 計	19	2,674	11,116	487	655	2,638	2,015	23,353	15,604



表 76 排出源別に推計した総排出量の推計結果(平成 17 年度)(業種別;その3)

物質 番号	対象化学物質名	総排出量(t/年)								
		3000	3100	3200	3300	3400	3500	3600	4400	5930
		電気機器器具製造業	輸送用機器器具製造業	精密機器器具製造業	武器製造業	その他の製造業	電気業	ガス業	倉庫業	燃料小売業
24	直鎖アルキルベンゼンスルホン酸及びその塩(アルキル基の炭素数が 10 から 14 までのもの及びその混合物に限る)	4	1	0						
40	エチルベンゼン	1,176	11,713	88		5				62
42	エチレンオキシド			57		104		43		0
63	キシレン	2,635	32,465	230		10				246
145	塩化メチレン	1,459	1,824	1,070		6				
166	N,N-ジメチルドデシルアミン = N-オキシド	1	0	0						
177	スチレン									
200	テトラクロロエチレン	474	4							
211	トリクロロエチレン	2,541	0	0		0				
224	1,3,5-トリメチルベンゼン	164	1,659	12						13
227	トルエン	3,503	15,897	103		473				1,712
251	ビス(水素化牛脂)ジメチルアンモニウム = クロリド	0	0	0						
283	ふっ化水素及びその水溶性塩	322	4	0	0	17	0			
299	ベンゼン									311
307	ポリ(オキシエチレン) = アルキルエーテル(アルキル基の炭素数が 12 から 15 までのもの及びその混合物に限る)	34	7	2						
308	ポリ(オキシエチレン) = オクチルフェニルエーテル	0	0	0						
309	ポリ(オキシエチレン) = ノニルフェニルエーテル	28	5	1						
	合計	12,342	63,577	1,564	0	615	0	43	0	2,343

表 76 排出源別に推計した総排出量の推計結果(平成 17 年度)(業種別;その4)

物質 番号	対象化学物質名	総排出量(t/年)								合計
		7210	7430	7700	8620	8630	8722	9140	9210	
		洗濯業	写真業	自動車整備業	商品検査業	計量証明業	産業廃棄物処分業	高等教育機関	自然科学研究所	
24	直鎖アルキルベンゼンスルホン酸及びその塩(アルキル基の炭素数が 10 から 14 までのもの及びその混合物に限る)	25	0							348
40	エチルベンゼン			3,244						23,209
42	エチレンオキシド	0						2	15	339
63	キシレン			7,427						63,843
145	塩化メチレン			63	0	16	1	52	11	16,119
166	N,N-ジメチルドデシルアミン=N-オキシド	0								12
177	スチレン									474
200	テトラクロロエチレン	3,512								6,481
211	トリクロロエチレン				0	7	1	23	5	7,887
224	1,3,5-トリメチルベンゼン			489						3,536
227	トルエン			6,350						86,931
251	ビス(水素化牛脂)ジメチルアンモニウム=クロリド	13								28
283	ふっ化水素及びその水溶性塩	0			0	0	1	0	1	528
299	ベンゼン									710
307	ポリ(オキシエチレン)=アルキルエーテル(アルキル基の炭素数が 12 から 15 までのもの及びその混合物に限る)	86	1							882
308	ポリ(オキシエチレン)=オクチルフェニルエーテル		0							6
309	ポリ(オキシエチレン)=ノニルフェニルエーテル	2	1							229
	合計	3,639	2	17,575	0	24	2	77	31	211,562